

### 第三者評価結果

事業所名：横浜市東部地域療育センター

#### A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重	第三者評価結果
<p>【A1】 A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; センターでは、子どもや保護者の意向を尊重し、必要な情報提供と選択肢を提示して主体的に意思決定ができるように支援しています。支援を実施する際には、保護者に子どもの状況を伝えて、選択肢とそれぞれの特徴などの必要な情報を客観的に提供して相談のり、保護者が自己選択できるように支援しています。子どもに対しては、遊びやおもちゃなど分かりやすい選択の機会を多く設け、子どもが自己選択して伝える経験を重ねることで、主体的に生活していく力を獲得できるように支援しています。子どもの興味や関心がある遊び等を保護者から聞き取り、楽しく過ごせるような環境設定をしています。知的な遅れがない発達障害の子どもを対象と</p>	
A-1-(2) 権利擁護	第三者評価結果
<p>【A2】 A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 書面「子どもの権利擁護について」を全職員に配付して職員に周知し、利用者の人権を尊重した支援の実施に努めています。虐待防止対応マニュアルを整備し、それに基づき対応しています。職員は子どもの状態の変化や保護者の様子を観察し、虐待等の早期発見に努めています。「不適切養育防止委員会（CAP委員会）」を設置し、虐待等不適切な養育を疑われる事例について情報共有し、対応について検討しています。必要に応じて関係機関に通告し、連携しています。保護者に対しては、重要事項説明書に具体的に記載し、利用開始時に説明しています。年2回「虐待防止委員会」を開催し、不適切事例の集計・分析、マニュアルの見直し、研修、身体拘束等利用者への職員の関わりの事例検討など、方針決定や体制整備をしています。園バスでの腰ベルト使用等については、他の方法がないかを検討し、安心・安全のためにやむを得ない場合には保護者の同意を得た上で実施しています。</p>	

#### A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本	第三者評価結果
<p>【A3】 A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 新規利用時には、ソーシャルワーカーが面談し、子どもの生育歴や心身の状態、保護者の要望等を聞いています。グループ療育や通園では利用者の状況についてアセスメントし、個々の課題に応じた目標を設定して支援しています。指導室ではパーテーション等を用いて子どもの動線に沿って機能別に空間を仕切り、視覚的にも分かりやすい構造化をしています。数字や絵カード、写真等を用いてその日の予定を分かりやすく掲示し、担任が子どもと一緒に確認したり、終了後に「おしまいボックス」に入れるなどすることで、子どもが理解し、納得して次の活動に移れるようにしています。保護者には、子どもが自分で理解してできる姿を実際に見てもらい、家庭での関わりや環境設定に活かせるようにしています。また、福祉制度や社会資源についての情報提供や活用に向けての支援をしたり、自助具や車椅子、座位保持椅子等の選定に向けた支援をするなど、各専門職が連携して必要な支援をしています。</p>	
<p>【A4】 A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 子どもの発達状況を踏まえて、言語聴覚士や作業療法士等の各専門職が検査・評価し、個々に応じた支援をしています。通園では、多職種のコンサルテーションを受けて個別支援計画に落とし込み、コミュニケーション能力を高められるように支援しています。個別支援計画には、表現、理解だけでなく対人の項目も設けられています。意思表示が難しい子どもには、多職種で連携して方法を探り、身振りや絵カード、写真、実物など、それぞれの子どもが理解できるコミュニケーションツールを利用しています。遊びや食事などの場面を用いて、子どもが自分で理解して選択し、伝える経験を重ねることで、コミュニケーション能力を高められるようにしています。タブレットなど新しいコミュニケーション機器の活用に向けてプロジェクトを立ち上げ、学習障害のある子どもに用いるなどしています。難聴の保護者にメールやファックスを用いたり、外国籍の保護者に対して通訳や自動翻訳機を用いるなど、コミュニケーションを取るのが難しい保護者に対する配慮もしています。</p>	
<p>【A5】 A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	

ホームページ、パンフレットにいつでも相談に応じる旨を記載し、ソーシャルワーカーを複数配置し、地区担当制で相談に応じる体制を整えています。保護者からの相談はソーシャルワーカーが窓口となりライフステージに応じた支援ができるようにしています。必要に応じて臨床心理士等の各専門職の面談の機会を設けています。初診までの待機期間には、「相談ルームいろは」を利用して子どもを遊ばせながら相談することができ、保護者の安心につながっています。センター内に行政や関係機関の情報や制度の紹介、地域資源など様々な情報を掲示し、必要な保護者には個別にも提供しています。通園では、年3回の個別支援計画作成時の個人面談のほか、保護者から相談があれば随時相談にのっています。園長、主任は毎朝連絡帳をチェックして相談したいこと、迷っていることを把握し、保護者のコメントに答えています。内容によってはソーシャルワーカーにつなぎ、連携して対応しています。子どもから活動に参加したくないなどの訴えがあった場合には、保護者にも連絡してその原因を探り、個別に対応しています。

【A6】 A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	b
--	---

<コメント>

通園課では子どもの興味や関心、保護者の意向等を踏まえて個別支援計画を策定し、一人ひとりの目標に沿った活動プログラムを実施しています。個別の課題に沿った個別療育とともに、集団療育として感覚運動やサーキット運動、音楽遊び、季節の製作などの活動を行っています。子どもが楽しみながら興味や関心の幅を広げられるように、多様なプログラムを用意し、待ち時間が長くならないように小グループに分けるなど、工夫しています。ハロウィンや豆まきなど季節の行事も実施しています。ミニ運動会として玉入れやリレーなど行い、保護者も見学しました。相手に輪を渡すリレーなど工夫すれば子どもができる場面を実際に見ることで、保護者が子どもの特性を理解し、一緒に楽しめるように支援しています。センター内に、他施設の障害者スポーツ文化センターやおもちゃ文庫などの情報を掲示し、保護者に情報提供していますが、さらなる充実を課題ととらえています。

【A7】 A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
---	---

<コメント>

職員は、全体研修や職種別研修、部門ごとの勉強会などを通し、障害に関する専門知識の習得と向上を図っています。通園では、個々の子どもの状況に応じて、専門職種間で支援方法を検討し、情報の共有を図っています。自傷や他害などの子どもの不適切な行動に対しては、個別対応を行いながら様子を観察し、臨床心理士等の専門職のコンサルテーション等を受けて会議で対応について話し合い、適切な支援が提供できるようにしています。クラス分けは、子どもの障害特性や目標、子ども同士の相性等を考慮して行い、それぞれの特性に応じた配慮や目標に沿った活動ができるようにしています。子ども同士のトラブルの際には、パーテーションで空間を仕切って動線を分けたり、グループ分けを変えるなどしています。

A-2-(2) 日常生活支援	第三者評価結果
【A8】 A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常生活支援を行っている。	a

<コメント>

給食は、栄養士が献立を作成し、外部の委託業者がセンター内の厨房で調理しています。普通食の他、5種類の特別食形態食を用意し、摂食外来の医師の指示に基づき提供しています。医師や栄養士等の専門職も参加するミーティングで食形態や介助方法、食事量などについて確認し、子どもに合わせて食具や食器、椅子やテーブルの高さ等も調整しています。コロナ禍のため、テーブルを分散させるなど、感染防止にも配慮しています。食事時には、看護師や言語聴覚士等が指導に入り、摂食状況を評価しています。白いご飯が苦手な子どもには海苔やふりかけを用いるなどの対応をし、少しずつ食べられる食材が増えるように支援しています。食物アレルギーのある子どもには、主治医の意見書の指示に従い、アレルギー対応マニュアルの手順に沿って除去食や代替食を提供しています。保護者に、レシピ集を配付したり、「子どもの食事とおやつ」の勉強会を行うなどしています。排泄は個々の子どもの状況に合わせて支援し、お漏らしなどで汚れた場合には、清拭や着替えをしています。

A-2-(3) 生活環境	第三者評価結果
【A9】 A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a

<コメント>

清掃は、共有部分については外部の業者に委託し、指導室は療育終了後に職員が清掃しています。新型コロナウイルス感染症対策として、空気清浄機、サーキュレーター等を設置し、常時窓を空けて換気しています。水と食塩水で消毒液を作る装置を設置し、おもちゃや教材、子どもが手を触れる所は、使用後に消毒しています。日々の点検で物の位置などの安全策を徹底するほか、TQMプロジェクトで職員からの意見を募り安心・安全で利用者が使いやすい環境を整えています。トイレは清潔に保たれ、扉やカーテンの設置などプライバシーへの配慮もされています。指導室は、仕切りを用いてプライベートスペースを確保し、子どもが集中して個別の課題に取り組んだり、落ち着いて過ごすことができるようにしています。保護者の意向に応じて、家庭訪問をして家庭の環境を確認し、多職種で連携して必要なアドバイスや支援をしています。

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練	第三者評価結果
【A10】 A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a

<コメント>

外来利用者については、医師の診療結果による指示を受け、専門職が検査・評価をして子どもの課題に応じた訓練実施計画を策定し、心身機能の改善に向けた支援を行っています。訓練実施計画の内容は必ず保護者に説明し、同意を得ています。訓練実施計画は、3か月ごとに見直しをし、段階的にレベルアップ出来るよう支援しています。通園では、生活の様子を各専門職に見てもらってコンサルテーションを受け、個々の課題に応じた目標を設定して、運動や学び、創作活動など様々な活動プログラムを実施しています。大型遊具やつり下げ遊具、7階水治療室前の斜面などを用い、子どもが楽しみながら機能を向上できるようなプログラムや環境設定を工夫しています。就学前には横浜市特別支援教育総合センターでの心理評価を案内し、その結果を基に必要な就学支援をしています。

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援	第三者評価結果
【A11】 A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a

<コメント>

子どもの健康状態は、診療の際の問診や検査を通じて状態を把握するほか、子どもの発達や障害、疾病の状況に応じて定期的な健康チェックを行っています。通園では、身体測定、内科健診、歯科健診、耳鼻科健診を原則年1回実施しています。健診の結果は用紙を用いて保護者にフィードバックし、保護者の健康相談に応じています。また、栄養士が栄養相談を実施して食生活のアドバイスをするなどしています。子どもに対しては、絵カード等を用いて手洗い指導や歯ブラシ指導などを行っています。通園では連絡帳を用いて子どもの健康状態について保護者と情報交換しています。登園時には、担任が子どもの健康状態を確認するとともに、看護師が各クラスをラウンドして確認しています。子どもの怪我や体調変化などには、園長、主任、看護師が確認し、緊急時対応マニュアルに沿って迅速に対応しています。

【A12】 A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a
--	---

<コメント>

所長を医療面の責任者として、医療的ケアの対応方針を明確化し、看護師が中心となって医療行為を実施しています。医療的なケアや医療的な配慮が必要な子どもの受け入れにあたっては、予め主治医の意見書を取得し、所長も参加して会議を開催して日常生活における対応や緊急時対応、安全管理体制等について検討して個別支援計画を作成し、保護者の同意を得ています。計画は、園長、主任、担任、医師、看護師、栄養士、専門職等が参加する医療関係者ミーティングで評価・見直しをしています。医師の意見書を基に個別の緊急時対応マニュアルを作成して、様々な場面を想定したシミュレーション訓練を実施し、保護者にも確認してもらい承諾書を取っています。必要に応じて医師の指示書に基づき保護者に与薬依頼書を提出してもらい、服薬支援を実施しています。毎回薬を持参してもらってクラスでチェックして預かり、看護師が管理しています。緊急時に備えて小児用抗けいれん薬等の処方薬の預かりもしています。

A-2-(6) 社会参加、学習支援	第三者評価結果
【A13】 A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b

<コメント>

センターでは運営方針に則り、子どもと保護者が安定した地域生活を送っていただけるよう支援しています。給食室で作った弁当を近くの公園で食べる弁当給食などしていましたが、センター内での活動を重視していることもあり地域での活動は少なくなっています。外泊支援等はしていませんが、保護者から相談があれば、スケジュールや電車等での注意点等のアドバイスをするなど、側面からの支援をしています。就学前には、学校見学の流れなどの説明会、教育委員会職員による進学に向けた保護者勉強会を実施するなどし、個別の相談にもなっています。子どもに対しては、名前を書いてみるなど進学に向けたイメージ作りをしています。知的な遅れがない発達障害の子どもを対象とした児童発達支援事業所「バレット」では、学校の教室を意識した環境設定をし、時間を意識する、約束を守る、座って話を聞くなど、就学に向けて基本的な姿勢が身に付くように支援しています。

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	第三者評価結果
【A14】 A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a

<コメント>

センター運営方針に「私たちは、子どもたちとご家族が、地域で自立し安らかに暮らすための『地域療育』に貢献します」を明記しています。地域の保育所・幼稚園と併行通園している場合には、保護者や通園先からの依頼を受けて、園を訪問したり、職員に向けて療育参観を行って助言や療育技術の指導をしています。就学にあたっては、就学先の学校と引継ぎを行っています。就学前後もソーシャルワーカーが中心となって、進路などの個別相談に対応したり、小学校からの依頼に基づき学校訪問しアドバイスするなどしています。ソーシャルワーカーによる保育所や幼稚園への巡回訪問や保育士や幼稚園教諭に向けた勉強会の開催、学校訪問でのコンサルテーションなどの学校支援事業を実施しています。地域関係機関と連携して子どもと保護者の地域生活を支えるよう努めていますが、件数が非常に多いため職員体制にも限界があり、関係機関からの要望に全て答えることは難しい状況です。

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	第三者評価結果
【A15】 A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a

<コメント>

センターでは、子どもと保護者が安心して生活できるように、保護者支援に力を入れています。新規申し込み後には、ソーシャルワーカーが面談に応じ、保護者の不安解消を図っています。初診までの待機期間には、「相談ルームいろは」の利用を案内し、保護者の不安・悩みを傾聴し、相談にのっています。相談支援の全利用者を対象に年間を通して様々なテーマで療育講座を開催している、コロナ禍では会場とオンラインのハイブリッド型で行うなどの工夫をしています。早期療育課、通園課、児童発達支援事業所「パレット」でもそれぞれ勉強会を実施し、家庭の養育力の向上を図っています。早期療育課では、週1回のグループ療育で子どもの様子を職員と保護者で確認し、保護者が子どもの状態を客観的に理解し、子どもとの関わり方に活かしていただけるように支援しています。通園では、親子通園日のミニ懇談のほか、年3回の保育参観、懇談会、家族勉強会等を実施し、障害への理解を深めるとともに、保護者同士が交流できるようにしています。

### A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援	第三者評価結果
<p>【A16】 A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>センターでは、各部門・職種が連携し、チームとして子どもの発達支援をしています。通園では、多職種による評価を基に個別支援計画を作成し、子どもの課題に沿った個別療育とともに、集団での療育プログラムを通して、子どもが人との関わり方や社会性を身に付け、社会生活を送る上での基礎を養われるように支援しています。知的に遅れがない発達障害の子どもを対象とした児童発達支援事業所「パレット」では、集団での活動やルールのある遊びを多く取り入れ、友だちと一緒に活動する中で社会性やコミュニケーション能力の向上を図っています。カレンダーや時計を意識して活動したり、翌日の予定や持ち物を連絡帳に記載して家庭で準備するなど、就学を意識した活動もしています。保護者勉強会等で保護者に必要な情報を提供するとともに、必要に応じて保育所や幼稚園、小学校、区の福祉保健センター等と連携し、必要な支援をしています。</p>	

### A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援	第三者評価結果
<p>【A17】 A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。</p>	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p style="text-align: center;">評価外</p>	
<p>【A18】 A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。</p>	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p style="text-align: center;">評価外</p>	
<p>【A19】 A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。</p>	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p style="text-align: center;">評価外</p>	